



Keidanren Women's Executive Network

Leadership
Mentor
Program個性を発揮して、
共に成長する

経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

第3回リーダーシップ・メンター・プログラム

2016年6月30日 東京・大手町 経団連会館

第一生命における
ダイバーシティ&インクルージョン

第一生命は、この20年来、あらゆる組織単位でPDCAサイクルを回しながら、一段高いレベルを目指すという経営品質経営に取り組んできた。現在では、「CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)」の考え方に重なる「DSR 経営 (Dai-ichi's Social Responsibility : 第一生命グループの社会的責任)」という枠組みへと進化している。この進化の歴史を「最大たるより最良たれ」という書籍にしてグループ内で共有化を図っているが、経営品質経営に取り組む中で、人材価値の向上とダイバーシティ&インクルージョンの推進を一体として進めてきた。

リーダーとして明確なビジョンを
持ち、自分流で力を発揮

ダイバーシティ&インクルージョンを考えるときに「ダイバーシティ=多様性を認める」といった経営者や管理者の側からの視点だけでは十分ではない。「自分の個性を認めてもらえるのか」「個性を発揮してどのように成長できるのか」といったそれぞれの個人の側からの視点を大切にしたい。「インクルージョン」も「組織に包摂する」という視点だけではなく、一人ひとりが「どのように経営や組織運営に参画していけるのか」という視点が重要である。両側からの視点を持つことで、一人ひとりが個性を発揮してプロフェッショナルとして成長し、組織運営に自ら参画してチームワーク力が高まる。即ち、それぞれが個性を発揮して、共に成長できる強い組織へとつながっていく。

同時に、リーダーの存在が不可欠である。皆さんはリーダーであり、皆さんの背中を見ている人たちが沢山いることを忘れて欲しい。自身がリーダーとしてどうしたいのか、明確なビジョンを立て、それを実現するための枠組みをどう組み立てていくのか、自分のスタイルを作り、力を発揮することが重要である。

Mentor Profile

渡邊 光一郎氏

(一社)日本経済団体連合会
審議委員会副議長
第一生命ホールディングス(株)
代表取締役社長

静岡県生まれ。東北大学経済学部卒業後、1976年第一生命保険相互会社に入社。調査部長、企画・調査本部長などを経て、2004年常務執行役員、2007年取締役常務執行役員、2008年取締役専務執行役員、2010年第一生命保険株式会社代表取締役社長。2016年より第一生命ホールディングス代表取締役社長・第一生命保険株式会社代表取締役社長。

一生運のパートナー
第一生命

Dai-ichi Life Group



第一生命最大たるより、「最良」たれ
著：高橋利雄
出版社：生産性出版